

# ゼンカイスクール

建築・都市アメニティグループ  
B09C042 渡辺 豊

オープンプラン 学校建築 主体的な学習 一斉教育

## 1. はじめに

現在、学校教育では基礎的な学力や公共の精神の育成のほかに、コミュニケーション能力や自己選択力、自ら学ぶ力などを指す「生きる力」の育成が掲げられている。この「生きる力」は、最低限の知識を基盤としながら、主体的に学習に取り組む態度を身につけていくことで育んでいる。

一方で、こうした日本の教育改革に先立ち、オープンプランという学校計画が取り入れられ、現在では一般化している。オープンプランを取り入れた特色ある学校建築が増える中で、オープンプランの画一化という問題が起きている。オープンスペースを有する小学校を計画する主な目的は、教育の個別化に対応することといえるが、オープンプランの魅力は決して授業の中だけに留まらない。本設計では、オープンプランの魅力を実践、生活の両面から再考し、その魅力を前面に打ち出した小学校を提案する。

## 2. 基本コンセプト

### 2.1. 全体

教室が開けることで生徒の生活の拠点が広がり、他クラスや他学年との交流が引き出され、特別教室などのスペースも子供の居場所となりうる。学級・学年という集団の枠を飛び越え、多くの触れ合いや多くの体験を通じて自己選択力やコミュニケーション能力といった「生きる力」を育む空間を目指す。よって、学年の壁を感じさせず全体が一体感を持つ空間にすべく、学校全体を全生徒が共有する空間構成とする。

### 2.2. 教室周辺

オープンプランは、教育の個別化に対応し、学習集団の分割と、再編成を主な目的としている。また、多目的な空間と教室を繋げることによって授業方法に工夫を持たせることができる。しかし、その空間の特性上、他クラスに配慮した授業を行う結果、オープンスペースが授業で活用されなくなってしまうことがある。学習集団の弾力化という本来の目的を失わないためにも、教室ごとに独自性を保ちつつ必要ときには空間の共有を行えるように計画する。

## 3. 敷地選定(図1)

本設計では、他学級への授業の影響を抑えつつオープンスペースの自由度を高め、学校全体に一体感を持たせることを考慮し、理想の学校規模を一学年一クラス程度の小規模校とした。由利本荘市周辺の該当小学校の調査の結果、全校生徒180人程度の規模、フラットな敷地による配置計画のしやすさ、地域住民を巻き込んだ活動を活発に行っていることなどから、由利本荘市立岩谷小学校を本設計の敷地として選定した。

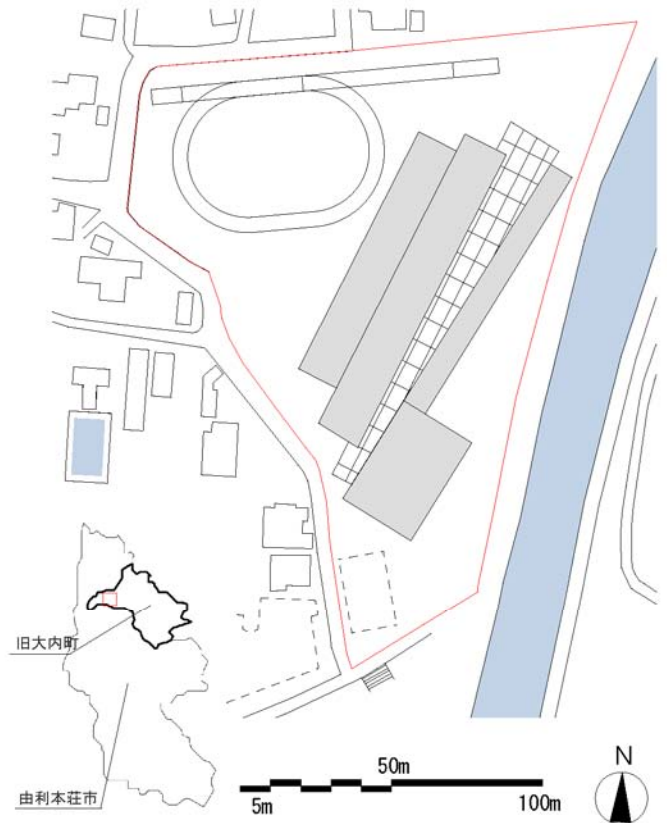


図1 配置図

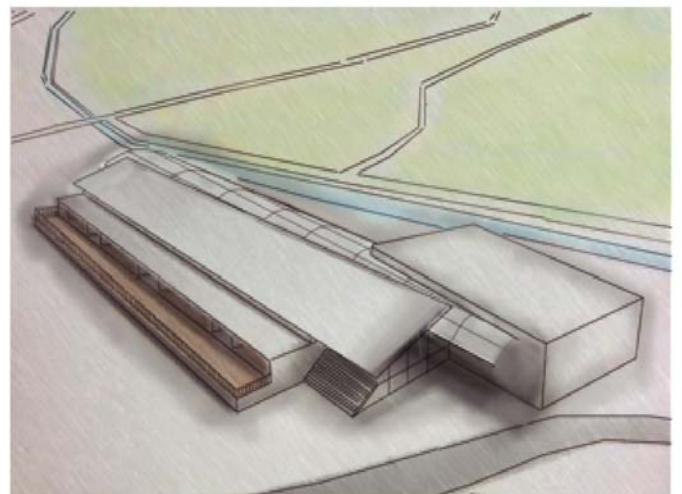


図2 外観パース

#### 4. 空間構成 (図2-10)

教室ごとの独自性を与えるため、オープンスペースに奥行きという概念を与え、多目的な空間と教室との間に各教室独自のエリアを意識させる空間を作る。今回は建築的方法として、壁を設けることによって奥行きを持たせるのではなくスロープを用いて教室から下っていく方向にオープンスペースを設け、奥行きを持ったオープンスペース空間として設定する。壁で仕切るのではなく、高低差によって仕切ることで全体の一体感との両立をはかった。スロープには、学習コーナーとなる平坦な「たまり空間」を設けていくことで、授業や日常生活の中に刺激をもたらす。

学校全体の交流を促す一体感を作り出すため、教室から活動を見渡せるようスロープと多目的空間によって全体が一直線に繋がれる。多目的空間は図書室やランチスペースといった共有スペースや特別教室から構成されており、これらの空間が緩やかに続くことで大空間に変化を与える計画とした。



図3 内観パース



図4 教室からスロープを見下ろす



図5 多目的ゾーン利用風景



図6 学習コーナー利用風景



図7 A-A' 断面図 1/1000

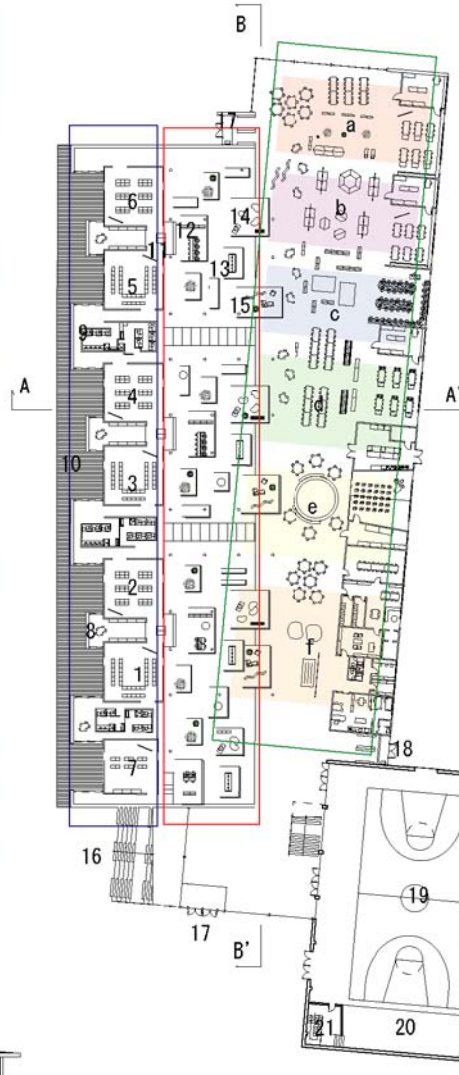


図8 一階平面図 1/1000

教室ゾーン	スロープゾーン
1-6. 各学年教室	11. 教師コーナー
7. 特殊教室	12. 図書/PCコーナー
8. ロッカースペース	13. 水道
9. トイレ	14. 教材/メディアコーナー
10. テラス	15. リラックスコーナー
共有ゾーン	その他
a. 理科/生物エリア	16. メインエントランス
b. 図工/展示エリア	17. 第二エントランス
c. PC/図書エリア	18. 教員用エントランス
d. 家庭科/調理エリア	19. 体育館アリーナ
e. 音楽/広場エリア	20. ステージ
f. 校務/遊戯エリア	21. 器具庫
	22. ギャラリー

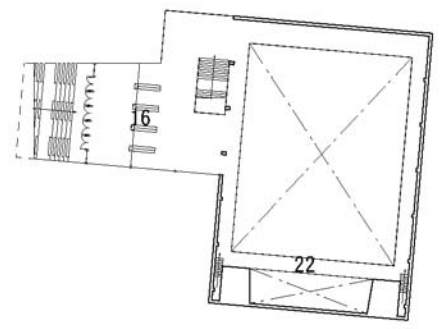


図9 二階平面図 1/1000



図10 B-B' 断面図 1/1000

